

渡辺日香里さん（自然科学研究科・博士後期課程 3 年）が第 10 回イオン液体討論会で優秀ポスター賞を受賞しました。

イオン液体研究会が主催する第 10 回イオン液体討論会において、大学院自然科学研究科・数理物質科学専攻化学コース・博士後期課程 3 年の渡辺日香里さんが優秀ポスター賞を受賞しました。

次世代電池として期待されるリチウム-硫黄電池は理論容量が大きい一方で、放電時に正極活物質の中間体であるポリスルフィドが電解液へ溶出することが問題とされています。放電時の電極/電解液界面反応は、複雑で未だ明らかにされていません。本研究では溶媒和イオン液体やスルホラン系超濃厚電解質溶液を電解液に用いたリチウム-硫黄電池を作製し、オペランドインピーダンス測定により、放電時の電極/電解液界面での反応について有力な知見を得ることに成功しました。

受賞者：渡辺 日香里（新潟大学大学院自然科学研究科・博士後期課程 3 年）
（指導教員：梅林 泰宏教授）

表題名：溶媒和イオン液体や超濃厚電解質溶液を用いたリチウム-硫黄電池のオペランドインピーダンス測定

